令和３年度 第２回安全教育研修実施記録

原子力事業所安全協力協定第３条第１項第２号に基づく安全教育に係る協力活動は、「令和３年度原子力事業所安全協力協定年間活動基本計画」に基づき、令和４年２月７日の開催に向けて関係各所と準備を進めてきた。

しかし、変異株「オミクロン株」の感染が急拡大していることから、政府は、１月２５日、茨城県を含む１８道府県に「まん延防止等重点措置」を、１月２７日から３月６日までの期間新たに適用することを決定した。

そのため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、日本原子力発電株式会社東海事業本部東海総合研修センターが準備した研修用テキスト（シミュレータによる運転体験、放射線測定体験）を入手し、各自が自主学習することに変更した。

１月３１日付、原子力事業所安全協力協定活動推進幹事会幹事長名で、「令和３年度第２回安全教育研修の自主学習への変更について（通知）」を送付、また、入手した研修用テキストを２月３日に受講生宛に郵送して、各自が都合のよい時間・場所で自主学習を行った。

・当初の開催計画

〔開催日〕　令和４年２月７日（月）

〔場　所〕　日本原子力発電株式会社　東海事業本部 東海総合研修センター

〔受講者〕　協定加盟６事業所の１５名

〔講　師〕　日本原子力発電株式会社　東海事業本部
東海総合研修センター講師
東海第二発電所　渉外・報道グループマネージャー

〔研修カリキュラム〕

（講話）東海第二発電所の近況について

（実習）① シミュレータによる運転体験
② 身の周りの放射線測定体験

以　上